

次世代育成に関する取り組み

未来を支える子どもたちのために理科教育の支援活動を行っています。

藤枝市理科教育支援プロジェクトの活動

近年、理系教科における学力や意識に関する国際比較において、先進国での「理科離れ」が指摘されており、日本も例外ではありません。それは日本の強みである「モノづくり」や「イノベーション」の基盤を危うくする懸念をはらんでいます。

このような状況をふまえ、私たちは、教育のプロである「理科の先生」に対する支援活動として、実社会において理科が果たしている意義や役割などを、直接先生方に知っていただき、未来の日本を担う子どもたちに伝えていただきたいという思いから、『藤枝市理科教育支援プロジェクト』活動を静岡工場がある藤枝市をモデル地区として実施しており、当社が主体となって、静岡県藤枝市に工場を置く企業と協力しながら、中学校の理科の先生方へ産官学連携による次世代教育支援活動を2009年から継続して行っており、自治体、学校関係者の皆さまから高い評価をいただいています。最近の主な活動をご紹介します。

理科教育交流会 — 2025年

2024年度は中外製薬工業株式会社さまの協力を得て、現地での工場見学を催しました。工場見学では、くすりができるまでの流れについての講話、生産ラインの様子や品質管理の取り組みの見学に加えて、くすりづくりの体験（原薬、製剤、包装）もさせていただきました。

参加された先生方からは、「一粒の薬ができるまでの流れや、本当に細かいところまで気を配ってつくられていることがよくわかった。理科を学ぶことが将来こういう仕事につながる、社会の役に立つことを意識して、子どもたちが興味を持つ授業をつくり上げていきたい。」とのコメントをいただきました。



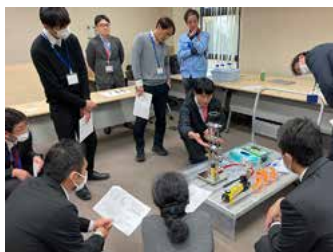
会議室での講話の様子



生産ラインの見学の様子



品質管理棟の見学の様子



くすり作り体験の様子



くすり作り体験の様子



くすり作り体験の様子

過去の「理科教育交流会」の活動内容